

## 下水道工事が行楽シーズンと重なり 作業効率が低下

### 事例の概要

道路（幅員7m、片側1車線、歩道なし）に、下水道管（VUφ200）を布設する工事です。片側交互通行の交通規制により工事を実施したところ、行楽シーズンと重なり交通渋滞が発生しました。このため、資材の搬入などが遅れたため、作業効率が低下し、工事工程に遅れが生じてしまいました。

### 原因

施工期間内の行楽シーズンに伴う交通量の増加を想定しておらず、交通渋滞により、作業効率が低下したことが主な原因と思われます。

### 対応策と教訓

- ・行楽シーズン中の昼間は、掘削開口部延長を30mから10mに変更し、通過車両の待ち時間短縮を図りました。さらに、施工体制を昼夜2交代制にすることで、2ヶ月間で20日の工期の遅れを取り戻すことができました。以上の対策の結果、工期内に工事を完了させることができました。
- ・工事の設計・積算に当たっては、現場の交通量に見合った交通誘導計画を検討し、適切な施工計画を立てましょう。

### 解説図

